

地域の特色を生かした研究・実践

～「不破の教育」を支える学校事務職員を目指して～

不破郡教育研究会事務職員部会

不破郡事務職員部会の概要

不破郡教育研究会 研究主題

「ふるさと不破」を誇りとして、未来を切り拓く子どもの育成

※研究推進の基本的な構え

・「ふるさと不破」を生かした教育活動を工夫する。

・人権教育の観点（※）を明確にした教育活動を推進する。

（※ 認識力・自己啓発力・行動力）

・各校の実践交流を大切にし、自校の取り組みに生かす。

不破郡事務職員部会 研究主題

未来を切り拓く子どもの育成を支援する学校事務

～学校経営への主体的な参画をめざして～

1. 全体研修、継続的に取り組んでいる研究実践

1-1 経営参画をめざした研修

目的 事務職員の役割を踏まえて学校経営に参画できる資質・能力を高める研修を充実する

●平成23年度講話 困り感に寄り添う支援の実際

～例えば一人の子どもの人生に関わる一人の大人として～

垂井町スクールアドバイザー 西尾真由美 様

教室を抜け出して職員室に入ってくる子どもに対して

○まず子どもを知る→校内情報交流

○自分の役割を決める→校内体制

接し方の具体

<担任、教育相談担当と連携して>

①スケジュールの確認

・時間で動くことの安心感

・見通しが持てることの安心感

②生活の規律の共通理解

・わかっていないからできない

③視覚支援の工夫

・期待を伝えるための視覚支援

当日資料より抜粋

●課題解決研修

勤務に関すること、社会保険、各種保険、法令規則に関すること
→法的根拠を調べる・解釈の仕方を学ぶ

●研修参加報告・特殊事例交流

- ・情報交流によるOJTの促進
- ・少人数だからこそできる気軽さ

1-2 事務だよりの発行

平成11年度～ 珈琲タイム、あっ！とタイム、ふわっとタイム（現在）

●活用方法の工夫…配り方の工夫、掲示場所の工夫、職員会議での配付

例：光熱水費特集号

【資料1 ふわっとタイム 平成23年12月中旬号】

配信→各校で入力・加工→職員へ啓発

- ・事務の平準化
- ・継続的な発行による定着
- ・事務職員の資質向上

1-3 事務経営案

平成13年度～

●共通理解 事務経営案は、事務職員個人の物ではなく、学校全体の物である。

- ・自己評価+校内評価
- ・12月頃作成 2～3月に職員会議へ提案
- ・所属異動する場合は、「評価結果の集計・分析」と「新年度用事務部経営案」を後任者へ引き継ぐ。

●ワークショップ

- ・“事務経営案の重点”と、“標準的職務内容”を関連付ける

●継続した取り組み

- ・内容の見直し
例 全職員が取り組める内容、わかりやすい表記にする
年度当初に、評価の観点を示しておく
- ・校長会への働きかけ、管理職からの事前指導

2. 学校財務（学校徴収金）の研究

平成22年度から平成24年度の三年計画

- ・一つ一つの学校の実態についてきめ細かく事例交流を行い、具体的な解決策を模索することを通して、課題解決につなげる。
- ・1年目 各学校の実態を把握
- 2年目 試験的な実践
- 3年目 研究成果の共有、実践

2-1 学校徴収金の仕組みと実務 (Aグループ)

- ・サンプル集の作成

学校徴収金取扱要綱、会計簿の記入例、支出金調書、会計報告書 等

2-2 学校徴収金への事務主任としての関わり (Bグループ)

- ・事務主任として学校徴収金に関わるための視点、方法を探る
- ・「公費・私費の一覧」・・・保護者の負担軽減

教材の利用の意図や、使用頻度など、校内でよく検討する必要がある。

学校予算との関わりについて、町や教育委員会への要望活動を継続する。

- ・チェックポイントの作成

【資料2 学校徴収金チェックポイント】

5つのキーワード 共通理解・費用対効果・負担軽減・説明責任・スリム化

「具体的な手立て・資料など」…実践のためのヒント、具体的な手立て、実際の資料

- ・学校の実情に合わせて必要な手立てができる柔軟な対応が必要。

2-3 学校徴収金が抱える諸問題 (Cグループ)

- ・未納対策のキーワード 信頼・組織・継続
- ・未納対策事例集の作成

振替不能発生時

学期末・年度末まで未納がある

学年を超えて未納額がある

卒業後も未納額がある

- ・具体的な対応

事例1 卒業アルバムの代金が未納の時に教室で渡す？

事例2 修学旅行費が未納があるにも関わらず、参加した場合は？

事例3 事業で使用する補助教材を不要だと保護者が申し出た時は？

事例3 言葉のすれちがいがあった場合は？ 【資料3 学校徴収金未納対応の記録】

- ・行政との連携

給食センター：未納者の報告

役場：児童手当の引き落とし

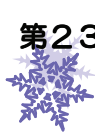
幼小中：情報の共有

P T A：保護者としての立場

民生児童委員会、学校評議委員会

- ・子ども達が安心して学習できる環境を作っていきたい。

第23-16号



ふわっとタイム



2011. 12. 15



光熱水費特集号

めっきりと寒くなってきましたが、お体は大丈夫でしょうか？このように寒い日が続くとストーブが恋しくなりますね。今回は、ストーブをつける元となる灯油代（光熱水費）についてお話しします。



先生方のご家庭においても、昨今の原油値上がりにより、灯油1リットルあたりの単価が高くなっていると思います。学校でも例外ではありません。配達料を含めて1リットルあたり92.40円（12月1日現在）です。配当予算が291,000円ですので、約3,200リットルしか購入することができません。

では、どのように節約をすればよいでしょうか？まずは、学校の基準温度をしっかりと守ることで。本校では9℃以下の時にストーブをつけることとなっています。少し寒いからといって、容易につけないようにしましょう。

それと、空き教室にもかかわらず、ストーブが点いていることを見かけます。必ず切ってから教室を移動するようにしましょう。



灯油代の他にも、学校では施設管理のための光熱費がかかっています。

例えば・・・

電気代

平成23年度 11月 8,604 kWh

平成22年度 11月 8,594 kWh

※昨年度に比べて10 kWhの増加

ガス代

平成23年度 11月 0.3 m³

平成22年度 11月 0.4 m³

※昨年度に比べて0.1 m³の減少

水道代

平成23年度 11月 87 m³

平成22年度 11月 72 m³

※昨年度に比べて15 m³の増加



光熱水費は形として残らない物です。しかし、これらはすべて国民の税金によって支払われています。東日本大震災による節電協力要請もあります。目に見えない分、無駄遣いのないように全職員一丸となって節約に取り組みましょう。



【資料2 学校徴収金チェックポイント】

学校徴収金チェックポイント

●参考資料

校内の動き	事務主任として確認ポイント	観 点	具体的な手立て・資料など
<p>□学校徴収金取扱要領の確認と見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱方法の共通理解 ・ 前年度の反省をふまえ、改正する <p>□教材選定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程から、必要な教材を選定する ・ 注文の時期と数を決定する (転出入数に注意する) ・ 決定後、教育委員会へ報告する <p>□予算案の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材選定の結果を踏まえる ・ 前年度実績を考慮しながら、今年度の予算案をたてる。 	<p>□各委員会の見届けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各長は、重複していないか ・ 委員会の開催時期、メンバーは適切か ・ 各種員会は適切に機能しているか ・ それぞれの委員会が連携できているか ・ 委員会の議事録が保管されているか <p>□学校徴収金の取り扱いについて、職員に説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員に共通理解する場を設けたか ・ 取扱事務に関する改善の提案ができたか <p>□教材の選定は適正に行われたかを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入業者は偏っていないか ・ 教育効果は十分期待できるものであるか ・ 保護者負担の軽減が考慮されているか ・ 選定の根拠が明確にされているか <p>□予算案の確認、引き落とし計画の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私費・公費の区分について適正であるか ・ 大きな変更点はないか、あった場合その根拠は明確であるか 	<p>【共通理解】</p> <p>【費用対効果】</p> <p>【負担軽減】</p> <p>【説明責任】</p>	<p>* 学校規模によっては、分けることが難しい場合もあるが、可能なかぎりかねない方が望ましい。</p> <p>* 各委員会で課題となった点について、職員会で報告するとよい。</p> <p>* 特に、指導要領の改正があった場合は、教務主任と連携して、必要な教材に留意する。</p> <p>●予算案 (今須小中)</p> <p>●「公費・私費区分表」</p> <p>* 前年度の実績をまとめておくと、予算案が立てやすい。</p> <p>●学費引き落とし一覧表 (今須中)</p>

【資料3 学校徴収金未納対応の記

学校徴収金未納対応の記録

*年 *組	保護者名	*****
	児童生徒名	*****
懇談日	平成24年2月3日(金)	
未納額	現年度	21,241 円
	前年以前	0 円
これまでの状況	1年生時から給食・学費等の滞る家庭。担任から、繰り返し連絡を入れてもらい、教材費から優先して入金していく状態ではあるが、年度末には、なんとか納まる。	
参加者	家庭	母親
	学校	事務職員
学校の説明		保護者の意見
<p>授業参観時に職員室まできてもらい、事務職員と話をした。(以前、懇談時に職員室へ寄るように担任から伝えてもらったが、寄らずに帰ってしまったので、今回は担任が職員室へ案内してきた。)事務職員から現在の未納状況を説明。教材費に関しては、返金が出るので、集金の必要はない旨を伝え、現在の未納額の中の給食費とPTA会費の16,241円のみ支払ってほしいことを話した。</p>		<p>2月10日に子ども手当が出るので、2月13日に持って来ます。</p>
結果		
<p>2月10日に約束した16,241円を持ってみえた。集金予定額より少ないが、必要最低限の金額は入金され、実質的には完納となった。</p>		